

お馬さんと楽しくふれあい♪

表紙

11月8日、デンマーク牧場で馬とのふれあい体験イベントが開催され、4家族・15人が参加しました。

サラブレッドのサイレントヒーローくんと、ミニチュアホースのミルちゃんが参加者をお出迎え。初めての触れ合いに恐る恐る近づく子もいましたが、馬たちの穏やかな表情に次第に慣れ、餌やりや引き馬を楽しんでいました。



年賀状用に写真を撮影♪

さらに、小学校4年生以上の子どもたちは乗馬にも挑戦。インストラクターに手綱を引いてもらいながら広場を一周し、清々しい青空の下、楽しく馬と交流しました。



乗り心地はいかが?



馬に引かれる!P 引き馬体験



お馬さんの大好物・ニンジンをどうぞ!

植物工場の新鮮レタスを給食で

11月、市内にある「テクノファーム袋井」で生産されたロメインレタスが、幼稚園、小中学校等の給食として提供されました。テクノファーム袋井は、世界最大規模の完全人工光型の植物工場で、1日に10トンのレタスを生産しています。

ロメインレタスは、スープの具材に使われ、子どもたちは地元で作られた食材をしっかり味わって食べました。



シャキシャキしておいしいね!  
(袋井北小学校)



レタスをふんだんに  
使用したスープ

今年はアーバンスポーツも熱い!

11月16日、さわやかアリーナで「FUKUROI SPORTS DAY 2025」を開催し、約500人が来場しました。

5回目となる今回は、昨年好評だったパラスポーツに加え、アーバンスポーツの体験ブースを拡充。障害物を飛び越えながら鬼ごっこをする「パルクール鬼ごっこ」や狭いフィールドの中で3対3でキーパーを設けず楽しむサッカー「3×3FOOTBALL」をはじめ、多彩なスポーツに触れました。



いつもの鬼ごっことは一味違う!

「フッピー・マーチ」が誕生しました!

11月22日、月見の里学遊館で「めぐるふくろいVol.2～袋井市市制施行20周年記念コンサート～」が開催されました。

本市出身のフルート奏者・作曲家である山崎景さんが企画したコンサートで、ピアニスト・川村菜穂子さん、本市出身の歌手・伊地知玲奈さん、袋井ほっと観光特使を務める水谷有理さんも出演。第一部では、「知ってる?袋井の曲」をテーマに袋井にまつわる曲を披露しました。第二部では、伊地知さんが作詞を、山崎さんが作曲を手掛けた「フッピー・マーチ」をダンスとともに初披露。袋井にゆかりのあるワードや、フッピーおなじみの語尾「なのです」がふんだんに使われた一曲で、来場者の皆さんもレクチャーを受け、一緒に踊って楽しみました。



フッピーも登場し、会場を盛り上げました



第1部で「袋井慕情」を披露する皆さん



## 「なんでもレンジャー」が焼き芋を作ってくれたよ！

11月26日、浅羽東こども園で「焼き芋会」が開催されました。

季節の味覚を味わう機会として実施されたもので、子どもたちが園内の畑



焼き芋のサツマイモを子どもたちに手渡す  
なんでもレンジャーの皆さん

で育てたサツマイモを使用。地域ボランティアグループ「なんでもレンジャー」の皆さんも駆け付けました。

子どもたちがアルミホイルで包んだサツマイモを、なんでもレンジャーの皆さんが焼き芋機に投入し、焼き加減などを調整。子どもたちは、出来上がった焼き芋を口いっぱい頬張りました。



焼き芋の完成を  
期待のまなざしで待つ園児たち



## JR袋井駅周辺に楽しいイベントが大集合♪

11月30日、JR袋井駅周辺で第7回目となる「フクロイエキマチフェスタ」を開催しました。

今回は「キミノチカラ発見！YEGフェス（主催：袋井商工会議所青年部）」も同時開催。6つの会場（エリア）でステージイベントやマルシェ、ワークショップなどが行われました。来場者は各エリアを巡る「まち歩き」を楽しみ、駅周辺がにぎわいあふれる1日となりました。



多くの人でにぎわう田端東遊水池公園  
(フクロイエキマチフェスタ)



多言語体験ゲームなどを楽しむ来場者  
(キミノチカラ発見！YEGフェス)



たくさんの人を前に、日頃の成果を披露♪  
(フクロイエキマチフェスタ)

## 「共助」を実践。地域で助け合う大切さを学ぶ

12月7日、市内各所で地域防災訓練が行われました。

上山梨自主連合防災隊は、イオン袋井店と連携し、店内で地震により火災が発生したことを想定した火災避難訓練を実施。地域住民21人が来店客役として



Tシャツが三角巾の代わりに！(三川地区)

参加し、従業員の誘導に従って屋外の駐車場へと避難しました。

また、三川自主連合防災隊は、三川コミュニティセンターで応急救護訓練を実施。中東遠総合医療センターのDMAT(災害時派遣医療チーム)隊員をはじめとする同センターの職員6人を講師として招き、参加者は患者の重症度に応じて治療の優先順位を決める「トリアージ・START法」の判断基準、三角巾の代わりに身近なものを使って骨折した腕を固定する方法や、毛布を用いた簡易担架の作り方について実践を通して学びました。



負傷者役を搬送する従業員(上山梨地区)